

■ 「すすめ！大槌プロジェクト」成果報告 第1回目 ■

電子書籍アプリをリリース、被災地研修生2名の常勤雇用を実現

～ 地域住民主体の復興を目指した大学初の試みへ ～

関西大学社会的信頼システム創生センター（センター長：与謝野有紀社会学部教授）は、岩手県上閉伊郡大槌町と連携し、2012年8月から、「すすめ！大槌プロジェクト」（正式名称：Sledge Hammer Inspiration Project、略称：「SHIP」）を展開しています。

本学は、地域の潜在的人的資源（現在、常勤の職を持ってないでいる地域住民、あるいは、職があればUターンを志望する地域外居住者）を育成し、地域に新産業を創生するとともに、雇用創出プロジェクトを推進することを目的に、2012年7月10日に、大槌町と連携協力協定を締結しました。

この連携協力協定事業の一環として、2012年8月から、被災地支援に熱心な大阪市内のIT企業2社と連携し、スマートフォン用のプログラム開発技能研修を大槌町で行い、その研修生を就業に結びつけるというプロジェクト（SHIP）を具体的に展開してきました。

センターは、大槌町でIT教育を希望する研修生をサポートするため、訓練場所の確保や、町職員等の協力について支援するとともに、雇用の受け皿となる企業（KAI-OTSUCHI）を大槌町で登記することをはじめ、機材等を含めた現地での企業活動全般を全面的に支援しました。

研修生として希望した5名は、これまで、アプリケーションの製作経験がないものの、KAI-OTSUCHI で日々研修を重ねた結果、研修生の熱意と訓練の成果が実を結び、電子書籍絵本『インディアンの中の森』を完成させました。この電子書籍絵本は、2013年1月21日に、App Storeにて無料アプリとしてリリースすることができました。

この電子書籍絵本アプリの製作を吟味し、研修生が就業に値する人材であるかどうかをKAI-OTSUCHI が客観的に評価を行った結果、2013年4月までに研修生5名のうち2名がKAI-OTSUCHI で就業することとなり、常勤雇用が実現しました。残り3名についても常勤雇用をめざして、引き続き研修を行います。

被災地の常勤雇用を実現させ、地域住民主体の復興を大学が支援するという、大学初の取り組みとして、センターでは今後もSHIPを展開し、成果報告を行います。

SHIPの成果、現状と将来の展望等の詳細については、別紙資料を参照ください。

別紙資料 SHIPの成果、現状と将来の展望（全3ページ）

（参考） 大槌町との連携協力協定締結プレスリリース（全2ページ）

※本件は、2013年1月25日開催の第87回関西大学記者懇談会で報告させていただいたものと同内容です。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 小野、依藤、中川

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp